

# 中部防災ニュース

平成29年  
3月号

発行  
静岡県中部危機管理局  
電話 (054) 644-9104  
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

## 東日本大震災に学ぶ ～「帰宅困難者」問題を考える～

東日本大震災の夜、街にあふれる人や駅の構内などで一夜を明かす人たちの姿がテレビに映し出されました。これは首都圏で発生した「帰宅困難者」です。鉄道の運行停止や道路の大渋滞により交通機関がマヒする中、大勢の人が一斉に帰宅を始めたことによって、街は大混乱に陥ったのです。



帰宅困難者が座り込む新宿駅構内（東日本大震災当日）

### 帰宅困難者が街にあふれると・・・

救急車や消防車などの緊急車両の通行の妨げとなり、救命・救助・消火等の応急活動に支障をきたしてしまいます。

帰宅途中で前に進めなくなったり、余震等により思わぬ怪我をする心配もあります。

### 対策の基本は、従業員を“帰さない”

大地震発生後は「**むやみに移動を開始しない**」という一斉帰宅抑制の基本原則を徹底しましょう。

## どうする！？一斉帰宅の抑制

### 従業員の待機・物資の備蓄

従業員の安全を確保するため、一定期間、事業所内に待機させます。従業員が待機する場合に備えて、必要な物資を備蓄しておきましょう。

### 施設内の安全の確保

従業員を安全に事業所内に留めておけるよう、建物の耐震化、家具類の転倒・落下・移動防止、ガラスの飛散防止などの施設内の安全確保に努めましょう。

### 従業員への周知

大地震発生時の従業員の待機や帰宅の方針をあらかじめ定めておき、従業員に周知しておきましょう。

### 安否確認手段の確保

帰宅できない従業員が家族に連絡できるよう、一人ひとりが災害用伝言ダイヤルや SNS 等の安否確認手段を確保するよう周知しましょう。

### 待機時の手順の確認

東海地震や南海トラフ巨大地震を想定した訓練を定期的に行い、事業所に待機する場合の手順などを確認しておきましょう。

方針を決めておけば従業員も安心だね。



## 従業員待機用の備蓄、どのくらいあればいいの？

### 3日分を目安にしましょう。

- ・飲料水は、1人当たり9リットル（1日3リットル分）
- ・主食（アルファ米、クラッカー、乾パン、カップ麺等）は、1人当たり9食（1日3食分）
- ・毛布は、1人当たり1枚
- ・防災用品（簡易トイレ、衛生用品、敷物、ラジオ、懐中電灯、乾電池、医薬品類等）は、必要な量



これ以外にも、事業継続等も考えて、必要となる備蓄品を検討しましょう。

（例）非常用発電機、燃料※、工具類、調理器具（ガスコンロ、鍋等）、副食（缶詰等）、ヘルメット、軍手、自転車、地図等  
※危険物関係法令等により消防署への許可申請や届け出が必要になる場合があります。

従業員個人でも職場内に備蓄をするよう奨励しましょう。

（例）非常用食品、飲料水、運動靴、常備薬、携帯ラジオ、モバイルバッテリー等

防災女子



